令和８年第９回
土岐市教育委員会定例会会議録

土　岐　市　教　育　委　員　会

令和８年第９回土岐市教育委員会定例会議事日程

令和８年９月２４日（金曜日）午後３時００分開議

日程第１　会議録署名委員の指名
日程第２　令和８年第８回土岐市教育委員会定例会会議録の承認
日程第３　土岐市教育長職務代理者の指名について
日程第４　議第１９号　教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について
日程第５　報第１２号　土岐市会計年度任用職員の任用について
日程第６　教育長報告

本日の出席者

教育長	長谷川　広　和
委員	加　藤　幸　代
委員	大　野　良　子
委員	林　　勇　気
委員	小　林　久　人

説明のため出席した職員

事務局長兼教育総務課長	西　部　浩　司
教育次長兼学校教育課長兼 教育研究所長兼教育支援センター所長	板　倉　義　樹
学校給食センター所長	林　　孝　子
教育総務課主幹兼課長補佐兼教育総務係長	鈴　木　寿　美
学校教育課課長補佐	内　海　裕　樹
学校教育課副主幹兼教育支援センター副所長	小　池　智　明
教育研究所主任	早　瀬　浩　孝
地域振興部次長兼生涯学習課長	神　戸　詔　悟
幼稚園・こども園課長	辻　野　まどか

・会議の傍聴人　　なし
・会議に遅参した者　　なし
・会議の公開、非公開の状況　　公開
・教育長報告　　あり

場所　土岐市役所　大会議室２Ａ

会議録作成者

事務局長兼教育総務課長	西　部　浩　司

開　会　午後３時００分

長谷川教育長

本日もお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。まず林委員は教育ときへの寄稿をありがとうございました。私たちに対する激励文をいただき、教育委員会みんなで頑張らなければと改めて思いました。先月防災の備えについてのお話をしました。千葉豪雨のように一定期間に３回も被災するとなると、さすがに子どもたちも含めどんな気持ちでいるのか考えてしまいます。９月８日の土岐市で警報が出たとき、ちょうど議会の最中でした。突然市長に電話が入り、レベル４が発令されたとの連絡でした。発令前は多治見には警報が出ているが土岐には出ていない状態でしたが、発令されていきなりレベル４とのことで、学校もまさかの事態でした。子どもの引き渡しをした学校が２校、浸水被害があった学校が２校、泉小学校は避難所になりましたので学校に対応をお願いしました。台風は予報を見ながら事前に対策本部を設置しますが、今回は急な立ち上げとなりました。建設水道部や危機管理室、総務部が手際よく動き、健康福祉部も避難所へ動き、本当に市民のために迅速に行動する市職員の姿はとても心強いなと思いました。庁舎の裏山も少し崩れてしまいましたがフェンスの手前で止まっています。今山肌が見えていますが、粘土層のある場所は同様に気を付けなければいけないかなと思っています。水害は短い時間で一気に被害を受けるので、想定外の幅を広げないととても対応できないと感じました。様々なケースを考えながら学校と一緒に対応していきたいと思います。

学校としては雨漏りや校庭の木の伐採などの課題がありますが、子どもたちには被害なく夏季休暇後の生活がスタートしています。

本日ですが令和７年度の夢・絆プランの執行状況の点検評価を取り扱うため関係課の課長にも出席いただいています。

それでは只今より令和８年第９回土岐市教育委員会定例会を開催させていただきます。

日程第１会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は、会議規則第１５条第２項の規定により、私から、林勇気委員を指名させていただきます。

次に日程第２、令和８年第８回土岐市教育委員会定例会会議録の内容について承認を求めます。会議録の内容についてはご異議ございませんか。

委員一同
　異議なし

長谷川教育長
　ありがとうございます。異議なしと認めます。
　次に、日程第３土岐市教育長職務代理者の指名についてでございます。先の、令和８年第４回土岐市議会定例会において、加藤幸代委員の任命同意が採決されました。引き続き加藤委員にはお世話になりますとともに、心強く思っています。
　それでは、加藤委員、一言ご挨拶いただけますか。

加藤委員
　再任になったことを心強く思っていただき、私としてもうれしく思っております。これからも子どもたちのために頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

長谷川教育長
　よろしくお願いします。続きまして、土岐市教育長職務代理者に関する規則第２条の規定により、教育長は委員の改選ごとに教育委員会の会議において職務代理者となる方を指名させていただくこととしております。
　そこで、わたくしから指名をさせていただきますが、次期職務代理者を大野良子委員にお願いしたいと思います。
　大野委員お願いできますでしょうか。

　≪大野委員の承諾確認≫

長谷川教育長
　では、１０月１日より次回改選時までよろしくお願いいたします。

　次に日程第４、議第１９号教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について　を議題といたします。本件について事務局の説明を求めます。
　西部事務局長お願いします。

西部事務局長
≪説明≫

長谷川教育長
これより質疑、討論を行います。
質疑、討論はございますでしょうか。

加藤委員
昨年ももっとＡが多くてもよいのではという意見があった気がするが、今年もＡが増えなかったのは評価が厳しいのかなと感じてしまいました。来年はもう少しＡ評価が増えることを期待します。

板倉次長
どうしても数値などを見たときに、もう少し努力すべき部分があるなと感じています。そういった部分がＡ評価に繋がらなかった部分かと思いますのでまた努力していきたいと思います。

長谷川教育長
第３次計画では指標を数字で示していますので、そういった部分は評価が厳しくなるかもしれません。指標を達成することは難しいかもしれませんが、取組は具体的な事例を示していきます。

小林委員
ＰＴＡ活動は希薄になり、役員のなり手もいないとよく聞きます。自分の子どもが小さかった頃は、みんなやる気を出してやっていたと思うが、人間的な気質の変化なのかいつの間にかこんな現状になってしまっていることを心配しています。

板倉次長
どの地域でもその問題はやはりあって、まずは子どもの人数が減っているため保護者の人数も減っていることは絶対的にあります。同年会が機能していないこともあり、なかなか役員を選出するのが難しくなっています。保護者の中でも夜の会議や仕事を休んで出席しなければいけない行事など、ＰＴＡ活動が負担だと感じる方が増えていることは間違いありません。学校そのものに協力したいという気持ちは皆さん持っていただいていると思いますが、役員となる

と抵抗を感じる方もいると思います。今役員をやってくださっている方と毎年のようにより良い方法がないか検討は重ねていますが、すぐに改善策を見つけることが難しい状況です。それぞれの学校で役員の負担を減らす努力はしています。役員を通して感じたやりがいなどを伝えていくことも大事だということは学校とも共通認識を持っています。引き続き検討は続けていきます。

長谷川教育長

保護者同士が関わる場面もコロナ以降減り、集まって喋る機会がまずありません。学校が保護者同士の関わりを生み出す場になりきれていない部分もあります。そういった関わりの場を意図的につくっていかなければいけないなと課題意識は持っています。

小林委員

やはり役員の選出にじゃんけんやくじは避けたいです。２～３０年前は自分の子どものためにやるという意識がすごくあったので現状に違和感を覚えています。

長谷川教育長

全体としてはＰＴＡを解散させたり国や県のＰＴＡ連合会から脱退したりする動きが増えてきています。そもそも任意加入のため最初から加入しない保護者も増えています。近隣市には弁護士を後ろ盾に主張する保護者もいるようです。土岐市でも以前対応したことがあります。どういう結論に着地するかですが、ＰＴＡについてはすべてなくすということではなく、あくまでも子どものためを第一に考え学校運営協議会などと上手に関わりながら検討していきたいと思います。加入率でいえばそれほど下がっておらず、一部の学校を除けば９０％以上という状況です。

大野委員

最近は町内会にも入らない方が増えているので、ＰＴＡに入らない方が増えているのも納得します。地域の交流も希薄ですし、挨拶も少なくなっていますので保護者への働きかけも必要だと思います。コロナで人と関わらないことに慣れてしまった人が大勢いるので将来寂しいのではないかと感じてしまいます。こういった人たちを上手に巻き込める何かいいアイデアがあればよいなと思います。

神戸生涯学習課長

ＰＴＡと同じで子ども会の活動はほとんどありません。市内で比較すると泉町にはまだ子どもがいますが、お祭りのお神輿なども子どもがいないことを理由になくなってしまいました。どんどん縮小し最小限の活動のみになっています。ジュニアリーダーズクラブも子ども会の活動があまりないため本来あるべき姿とは違う活動になっています。地域によっては活発なところもありますが、地域の結びつきが弱くなっているなと感じています。

林委員

小学校の連携の充実について評価が下がっていますが、何か理由がありますか。

辻野幼稚園・こども園課長

令和７年度の９月頃まで、支援が必要な園児が小学校に上手く進んでいくためにサポートする発達支援相談員が不在の期間がありました。それも含め、小学校に進んだ児童がなかなか適応できない事案も聞いております。そういった面で評価が下がったのではと思います。

長谷川教育長

巡回相談が機能していますので、それぞれ子どもの状況を把握したうえで小学校も受け入れていますが、マンツーマンの対応が難しい場面もあるため、また考えていかないとと思っています。

それでは終結してよろしいでしょうか。続いて採決を行います。

議第１９号教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価については原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

委員一同

異議なし

長谷川教育長

異議なしということで、議第１９号議案については原案のとおり可決することに決しました。

続きまして、日程第５、報第１２号、土岐市会計年度任用職員の

任用について　を議題とします。本件について事務局の説明を求めます。
　板倉教育次長お願いします。

板倉教育次長
≪説明≫

長谷川教育長
　これより質疑討論を行います。
　質疑討論はございませんでしょうか。

大野委員
　支援員の増員が必要である理由はなんですか。

板倉次長
　特別支援学級の生徒の対応で人手が足りないためです。周囲への配慮と生徒の安全を考慮し増員しました。

長谷川教育長
　では終結をさせていただきます。
　それでは、報第１２号　土岐市会計年度任用職員の任用については、ご承知おきいただきますようよろしくお願いします。
　では日程第６、教育長報告でございます。
　今月初めに科学作品、発明くふう、社会科課題作品、読書感想文、ふれあい給食と表彰式を行いました。展示会場にも非常に多くの方に訪れていただき、表彰式も多くの方に讃えてもらえる機会になってよかったなと思います。いつも表彰式に出席するたびに、子どもがもらった盾を家族で眺めながら話している光景があたたかくふんわりした雰囲気で、お互いが認め合い会話を弾ませているとても素敵な時間だなと感じます。こういう姿を大事にしていきたいと思いました。科学作品で肥田小６年生の子がアブラムシの研究をしました。発端はアブラムシから出る蜜をアリが吸うために近づいていたところから、アブラムシは甘いのだろうかという疑問を抱き、実際に食べてみてプレビューをし、そこからアブラムシについていろいろ調べていました。子どもしかできない研究だなと感じるとともに、よく保護者の方が見守っていてくれたなと思います。そのくらいの

意識で寄り添っていただけると子どもたちは自由に自分の考えを追求できると思います。とてもおもしろい日常が感じられる作品でした。東濃審査会について後ほど話があるかと思いますが、県の出品作品にも複数選ばれています。夏休みに能力開花講座を実施していて、そういったところに参加した子どもが出品する作品数も増えてきていますので、これからも大事にしながら子どもたちに自分の中にある光るものを自覚させ、自信につなげていくことを大切にしていきたいと思います。

１０月には学校訪問が定期的にあります。今回夢・絆プランの点検評価がありましたし、そういったところから子どもの姿を学校でご指導いただけるとありがたいです。

では本日の日程を全部終了しました。これをもちまして令和８年第９回土岐市教育委員会定例会を閉会させていただきます。

閉　会　午後３時４０分